

1 高等学校定時制・通信制教育研修会

(1) 目的

定時制・通信制教育の諸問題について研究協議を行い、担当教員の資質の向上をめざし、定通教育の充実を図る。

(2) 期 日 昭和52年5月16日(月)～5月18日(水)

(3) 会 場 福島県教育センター

(4) 講師・講演題

「現代社会と教育」

桜の聖母短期大学講師 本多隼男

(5) 分科会・研究内容

第1分科会

① 管理運営部

ア 定通教育における現職教育（校内研修）のあり方
定通においては、教職員組織上、校内研修が実施しにくいのが現状と思われる。これを解決する方途をみだし、教職員の資質をいかにして図るかを協議研究した。

イ 定時制における5日制について

学校5日制についての論議が盛んであるが、定時制の実状を加味して展望した場合、どんな問題があるかを研究協議した。

② 学習指導部

ア 生徒の実態に即応した学習指導について

定時制にも、生徒の多様化、多層化が激しくなっている現在、学習指導のあり方について、教材の精選、学習意欲を高めるくふう等について研究協議した。

イ 時間内学習の成果をあげる指導は、どのようにしたらよいか。

家庭学習の時間的余裕のない勤労生徒にとっては、必然的に授業時間中に学習の徹底を期さねばならない。このための指導法のくふう等について研究協議した。

第2分科会

① 生徒指導部

ア 中途脱落生徒の未然防止について

最近定通生徒の中途退学者がめだっている。その原因を調査し、修学意欲をもたせる指導法を研究協議した。

イ 事故、非行を未然に防ぐための注意や安全教育をどう進めたらよいか。

不純異性交遊、風俗営業店への出入、暴走族への加入等による非行、特に交通事故を防ぐための方策を研究協議した。

② 各教科以外の教育活動

ア 定通修学指導事業の実施と指導をいかにすべきか。

修学指導事業が、今年度より新事業として、とりあげられたので、その実施状況及び指導内容について研究協議した。

イ 教育活動の積極的運営はどのようにすればよいか。

生徒数の減少とともに学校行事、生徒会活動等において生徒の士気があがらず、積極的参加が期待できない現状であるので、どのようにしたらよいかを研究協議した。

③ 通信制部

ア 停滞者対策について

近年、在籍者数が横ばい状態であるのにせつかく入学しても、諸事情で停滞あるいは退学する者が目だっている。それに対する実践と対策について研究協議した。

イ 通信制の特殊性を生かした学習指導のあり方について

通信制は、生徒の平均年齢が高く在籍年数も長い。また、学習も孤立した形をとっている。これらを分析考察し、通信制の特色を生かした学習指導のあり方について研究協議した。

2 第26回東北地区高等学校定時制・通信制教育振興会総会並びに第29回東北地区高等学校定時制・通信制教育研究協議会

(1) 趣 旨

高等学校定時制・通信制教育における現状及び将来の諸問題について研究協議を重ね、東北各県相互の理解を深めるとともに、今後の振興を図る。

(2) 期 日 昭和52年6月29日(水)、30日(木)、7月1日(金)

(3) 会 場 青森市「青森県教育会館」

(4) 参加人員 約470名

(5) 部会及び分科会

① 管理運営部会（第1分科会）

② 学習指導部会（第2分科会）

③ 生徒指導部会（第3分科会）

④ 各教科以外の教育活動部会（第4分科会）

⑤ 通信制部会（第5分科会）

なお、本県における定通教育の現況について、高等学校教育課指導主事齋藤安俊が説明を行い、また福島県立福島中央高等学校教諭菊田節子が「生徒の実態に即応した学習指導について」研究発表を行った。

3 第32回東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会

(1) 趣 旨

高等学校通信制教育について、東北・北海道地区の実施校相互の理解と認識を深め、現在及び将来における種々の問題について研究協議を行い、今後の発展の一助とする。

(2) 主 催

東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会

(3) 共 催

福島県教育委員会

(4) 期 日 昭和52年10月6日(木)～7日(金)

(5) 会 場 共済組合飯坂保養所「あづま荘」

(6) 部会及び研究協議題

第1分科会（管理運営）